

令和3年度 第3回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 令和3年6月2日(水) 13:30~15:32

2 場 所 大学本館2号館 多目的ホール

3 出席者(15名)

学内：藤野(昭)、中山、齋藤、原田、足立、矢寺、阿南、庄司、大松、藤野(善)、
檜本

学外：櫻井、安元、田中、玉城

欠席者(1名)

学内：藤木

学外：なし

4 報告事項等

(1) 令和3年度第2回迅速審査小委員会について

齋藤委員長から、4件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する研究実施責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(2) 倫理審査 研究計画書等の変更について

藤野(昭)委員長から、倫理審査 研究計画書等の変更について、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」と「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の統合に伴い、「倫理審査 研究計画書」「参加される方への説明文書」「同意書」「同意撤回書」様式の一部変更について、説明があった。

(3) 令和3年度第4回産業医科大学倫理委員会開催時刻の変更について

藤野(昭)委員長から、開始時刻を13時からに変更する旨の報告があった。

5 審議事項等

(1) 令和3年度第2回産業医科大学倫理委員会議事抄録(案)について

藤野(昭)委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針違反報告書について(1件)

当該研究実施責任者より、研究期間の変更手続きについて一部不備があったことの報告及び今後の具体的な改善策についての説明があり、審議の結果、承認された。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請(迅速審査)

① 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 准教授 永田 智久
研究課題名：労働機能障害とその後の受診行動に関する後ろ向きコホート調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

② 実施責任者：産業保健学部 基礎看護学 准教授 岡田 なぎさ

研究課題名： COVID-19 感染対策下での臨地実習による看護学生への影響
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

③ 実施責任者： 産業保健学部 産業・地域看護学 助教 大森 美保
研究課題名： 産業看護学分野における実習効果と課題
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

④ 実施責任者： 医学部 医学教育担当教員 准教授 山本 幸代
研究課題名： 新型コロナウイルス感染拡大防止のための長期休校が児童・生徒の健康・
生活習慣に与えた影響： 教育現場での認識調査
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

(2) 新規申請

① 実施責任者： 産業医科大学病院 認知症センター 准教授 池ノ内 篤子
研究課題名： 認知症介護が就労者の精神状態に与える影響 ～生活・就労環境及び被介護者の状態との関連～
審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 2) 対象者の目標人数

対象者の目標を「ペア 600 人 (300 ペア)」とあるが、配偶者や子等、どこまでを対象としているか不明なため、「主に介護をしている方」である旨を追記する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い

1) 廃棄方法

二次解析の可能性に備えて保管する旨の記載があるが、保管期間について明記する。

参加される方への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

専門的な用語が多用され、介護をしている方向け文書としては分かりづらいため、全体的に簡単に簡潔に改める。

5. 研究の方法

専門的用語が多用されているため、研究方法について分かり易く記載する。

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

研究対象者に生じる利益として、研究参加によって得られた結果により、今後ソーシャルワーカー等専門職へ繋ぐ等、アフターケアを受けることができる旨を明記する。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

二次解析の可能性に備えて、電子データベースを保管する旨の記載があるが、保管期間について明記する。

24. その他

研究実施責任者の所属名が『産業医科大学病院』とあるが、『産業医科大学病院認知症センター』まで表記する。

質問票 I

- ・『世帯収入はいくらですか。』との質問項目について、参加者が回答しづらいののではないか。「差し支えない範囲で」等の言葉を追記する等、もう少し配慮が必要である。
- ・『現在治療中の心身の病気がありますか。』との質問項目について、「心身症」等、具体的な病名を記載する。
- ・『食欲はいかがですか。』との質問項目について、いつの状態と比較するのか分かりにくく、また、介護が長期間に渡っている参加者は【介護前】との比較が難しいため、回答がしやすいような質問に改める。

- ② 実施責任者： 産業保健学部 人間情報科学 准教授 江口 泰正
研究課題名： 市販の電解質飲料摂取が暑熱下活動時の身体変化に及ぼす効果
審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

全体に「核心温」「深部体温」「直腸温」と表記が異なっているため、「核心温」に統一する。

5. 実施計画 2) 対象者の目標人数

算出されたサンプルサイズが小さく、設定方法に疑問が残るため、サンプルサイズの推定についての詳細な記載は削除することとする。

参加される方への説明文書

全体に「核心温」「深部体温」「直腸温」と表記が異なっているため、「核心温」に統一する。

- ③ 実施責任者： 産業生態科学研究所 産業保健管理学 助教 永野 千景
研究課題名： 屋内暑熱職場における労働者の熱中症リスクとその作業用衣服による影響についての調査
審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

対象者をランダムに A・B グループの 2 群に分けるとあるが、ランダムサイズ割り付けをする旨も明記する。また、空調服は研究班所有の物を貸与することも明記する。

参加される方への説明文書

5. 研究の方法 9 行目

「本研究では同じ作業場の方をランダムに A・B グループの 2 群に振り分けます。」とあるが、ランダムサイズ割り付けをする旨も明記する。また、空調服は研究班所有の物を貸与することも明記する。

- ④ 実施責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名： 産業医のキャリアパスに関するインタビュー調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）
対象者は、キャリアパス・個別インタビュー及び企業内キャリア・個別インタビューの両方を受けることになることを明記する。
5. 実施計画 4) 場所
「Zoom や MS-Teams 等の遠隔会議ツール（Zoom 等）を利用」とあるが、（Zoom 等）は削除する。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 1) 対象者の利益
研究結果に関わる利益以外の対象者の利益については、削除する。

参加される方への説明文書

12. 個人情報の取り扱い
・逐語録作成について、外部業者に委託する旨を追記する。
・同意撤回の際、速やかに削除とあるが、「同意撤回書」ではデータの廃棄・利用の意思確認の項目があるため、意思を確認した上でデータを削除する旨に改める。

- ⑤ 実施責任者： 産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名： 労働安全衛生マネジメントシステム（ISO45001）の第三者審査において、労働衛生分野が適切に審査されるために必要な審査員の知識および能力：
OHSMS に関する力量がある産業保健専門職によるフォーカスグループディスカッション

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

19. 緊急時の連絡先
連絡先電話番号の内線番号に誤植がある。「4921」→「4915」とする。

参加される方への説明文書

5. 研究の方法
ディスカッションの内容を録音し、逐語録を作成する旨を明記する。
12. 個人情報の取り扱い
取得する個人情報について、具体的に明記する。
13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法
同意撤回の際のデータの取り扱いについても記述する。

- ⑥ 実施責任者： 医学部 救急医学 教授 真弓 俊彦
研究課題名： オンライン実習でも対応できる魅力ある教育用カルテシステムの開発

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査変更申請書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）
「医学部5年生 120名・6年生 12名」とあるが、5. 実施計画 b) 具体的方法 の調査
調査対象者数に統一し、「医学部5年生 100名・6年生 10名」とする。
5. 実施計画 2) 対象者の目標人数
「医学部5年生 120名・6年生 12名」とあるが、5. 実施計画 b) 具体的方法 の調査
調査対象者数に統一し、「医学部5年生 100名・6年生 10名」とする。
5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法
2. 教育カルテの開発
教育カルテシステムの開発にあたり、業者と供に開発するとなっているが、共同開
発とは異なるため、一部を委託する旨の記述に改める。
3. 質問紙調査 実習開始前の質問内容
 - ・質問紙を記名式に改めたため、「氏名」の項目を追記する。
 - ・質問項目が「全 8問」とあるが、『参加される説明文書』に記載の項目数と統一
する。
7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク
「企業名並びに回答者が」とあるが、企業名の表現は不要のため、「回答者が」に
改める。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 3) 対象者の負担及び予測され
るリスクを最小化する対策
「学生が損失を受ける危険性が考えられるため」とあるが、そこまでの重大な損失は
考えられないため、表現を改める。
13. 研究業務の一部を委託する場合の業務内容と監督方法
委託は行わない旨の記述があるが、教材となるカルテシステム開発を委託業者に一
部委託することがあるため、その旨を明記する。

参加される方への説明文書

5. 研究の方法
実習開始前の質問内容
質問項目の「POMR の問題志向型診療記録で記載できる」という項目が漏れている
ため、追記する。

(3) 新規申請（継続審査）

- ④ 実施責任者： 産業生態科学研究所 職業性腫瘍学 准教授 李 云善
研究課題名： 生活習慣が酸化ストレスマーカー尿中8-ヒドロキシグアノシンに及ぼす
影響

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを
委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査変更申請書

5. 実施計画 2) 対象者の目標人数

目標人数 100 名とあるが、エフォートが多く、無謝金ではこのサンプルサイズでは大きすぎると思われるため、実現が可能な本研究に必要な最低限の人数に改める。

参加される方への説明文書

対象者へ向けた文書のため「です・ます」調に統一する。

(4) 変更申請

- ① 実施責任者： 産業保健学部 産業・地域看護学 准教授 八谷 百合子
研究課題名： 就寝前のストレッチによる睡眠への影響に関する研究
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

3. 変更内容

産業保健学部看護学科学生の名が記載されているが、研究者としての位置づけではないため、削除する。

倫理審査変更申請書

20. その他

「本研究は、産業保健学部看護学科学生が研究に参加する。」との記載があるが、研究者としての位置づけでの参加ではないため、削除する。

参加者の方への説明文書

24. その他

「本研究は、産業保健学部看護学科学生が研究に参加します。」との記載があるが、研究者としての位置づけでの参加ではないため、削除する。

- ② 実施責任者： 産業保健学部 人間情報科学 講師 黒坂 知絵
研究課題名： 各種茶飲料の摂取による生体影響の差異
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者： 医療情報部 部長 林田 賢史
研究課題名： 日々の患者状態データを用いた診療・ケアの質評価と看護業務マネジメント手法の開発
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 実施責任者： エコチル調査 特任教授 下野 昌幸
研究課題名： 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）本調査
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤野(善)委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査変更申請書

3. 変更内容

『5. 5) b) 研究の具体的方法』変更後について、「遺伝子解析に供する目的で参加者（母親、子ども、父親）の血液を保存する。」とあるが、今回新たに血液を採取するような誤解を与えてしまうため、「保存した血液を使用し、遺伝子解析に供する。」に改める。

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 期間 b) 研究の具体的方法 22行目

「遺伝子解析に供する目的で参加者（母親、子ども、父親）の血液を保存する。」とあるが、今回新たに血液を採取するような誤解を与えてしまうため、「保存した血液を使用し、遺伝子解析に供する。」に改める。

- ⑤ 実施責任者：産業医科大学病院 看護部 看護師 八代 紘享
研究課題名：精神疾患と褥瘡発生要因の検討
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 実施責任者：産業生態科学研究所 環境疫学 准教授 石丸 知宏
研究課題名：留学生アルバイトの現状と労働災害との関連に関する疫学研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 実施責任者：産業生態科学研究所 環境疫学 准教授 石丸 知宏
研究課題名：就寝中の外耳道温の経時的变化に関する研究：耳内温度計による概日リズム推定のためのパイロット調査
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤野（善）委員は退席した。
- ⑧ 実施責任者：産業生態科学研究所 環境疫学 准教授 石丸 知宏
研究課題名：高齢労働者の転倒予防に資するタイの農業従事者の身体機能と転倒災害のコホート研究
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 実施責任者：医学部 微生物学 准教授 福田 和正
研究課題名：新規微生物（IOLA）の感染実態の解明
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である齋藤委員は退席した。
- ⑩ 実施責任者：産業保健学部 成人・老年看護学 教授 阿南 あゆみ
研究課題名：中堅看護師の卒後2-4年目看護師への教育的な関わりの実態と影響要因
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。
なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である阿南委員は退席した。

- ⑪ 実施責任者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 教授 原 邦夫
 研究課題名： 化学物質リスクアセスメントを効果的に実施するための要因に関わる調査研究
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑫ 実施責任者： 産業医科大学病院 看護部 看護師 大塚 清加
 研究課題名： 術後せん妄リスクアセスメントシート改定に向けた取り組み
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑬ 実施責任者： 産業保健学部 広域・発達看護学 講師 児玉 豊彦
 研究課題名： COVID-19 流行下における精神科訪問看護利用者の精神状態の変化に対するアンケート調査
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑭ 実施責任者： 産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
 研究課題名： 小規模零細事業場の構成員に必要な支援を効率的に提供するツールと仕組みを通してメンタルヘルス対策を浸透させることを目指す実装研究
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。
 [指摘事項]
 説明文書（相談員、コーディネーターの皆様向け）
 5. 研究の方法
 目標人数が「10名」とあるが、今回変更があったため、「15名」に改める。
 7. 研究対象者に生じる負担並びに予想されるリスク及び利益
 登録産業医についてのみ記載があるため、他の参加者についても追記する。
 説明文書（小規模事業場の構成員及び社会保険労務士の皆様向け）
 5. 研究の方法
 目標人数が「10名」とあるが、今回変更があったため、「15名」に改める。
- ⑮ 実施責任者： 医学部 衛生学 教授 辻 真弓
 研究課題名： 溶接作業者の溶接ヒュームばく露（個人ばく露と生体内ばく露）と健康影響の関係に関する疫学調査
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
 なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である矢寺委員は退席した。

7 その他

(1) 研究終了報告 11 件、中止報告 1 件及び進捗状況報告 26 件が承認された。

<終了報告> 11 件

- H27-225 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：肺がん患者における自己抗体の検出および臨床的意義の検討
- H29-012 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波 敏則
研究課題名：第3世代 EGFR チロシンキナーゼ阻害薬効果予測における血漿遊離 DNA の有用性について
- H29-182 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 教授 矢寺 和博
研究課題名：呼吸器疾患におけるペルオキシレドキシシン4のバイオマーカーとしての可能性の検討
- H29-193 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 助教 川端 宏樹
研究課題名：特発性間質性肺障害、膠原病合併間質性肺障害における抗 MDA5 抗体の臨床的意義の解析
- H29-267 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：産業医科大学環境マネジメント学科の作業環境測定士・衛生管理者育成のための学部教育の効果と課題
- H29-268 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：連想法による「産業衛生技術」の概念獲得のための授業評価
- H30-126 実施責任者：産業保健学部 作業環境計測制御学 助教 山本 忍
研究課題名：N,N-ジメチルアセトアミド (DMAC) の生物学的モニタリング手法の開発
- R1-001 実施責任者：医学部 法医学 准教授 田中 敏子
研究課題名：法医解剖事例での尿中薬物簡易スクリーニングキット Triage DOA®の有効性の検討
- R1-003 実施責任者：産業保健学部 成人・老年看護学 准教授 永松 有紀
研究課題名：経口抗がん剤治療を行う就労がん患者の服薬アドヒアランスに関する支援の実態
- R2-028 実施責任者：産業生態科学研究所 労働衛生工学 教授 東 秀憲
研究課題名：プロテクタによる飛沫等飛散防止効果の検証
- R2-077 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：職場における新型コロナウイルス感染症対策のための業種・業態別マニュアルの作成に資する研究

<中止報告> 1件

H29-263 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波 敏則
研究課題名：第3世代EGFR-TKI（オシメルチニブ）の耐性機序にかかわるバイオマーカー探索に関する研究

<進捗状況報告> 26件

H25-108 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 助教 川端 宏樹
研究課題名：肺の生活習慣病の克服を目指した医療ネットワークの構築
－喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究－

H27-094 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 助教 川端 宏樹
研究課題名：気管支肺泡洗浄液を用いた肺リンパ腫の分子生物学的診断方法の確立

H27-238 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 助教 川端 宏樹
研究課題名：びまん性肺疾患患者における自己抗体の検出および臨床的意義の検討

H29-017 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓
研究課題名：間質性肺炎合併肺癌切除患者における術後急性増悪予測 リスクスコアバリデーションスタディ ー多施設共同非介入前向き研究－

H29-099 実施責任者：産業医科大学病院 放射線部 診療放射線技師 永元 啓介
研究課題名：耳小骨 CT 検査における撮影法や画像再構成法の違いが画質及び放射線被ばく線量に与える影響に関する後ろ向き研究

H30-061 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 山崎 啓
研究課題名：肺泡マクロファージのフェノタイプ毎の貪食能と下気道細菌叢に着目した慢性下気道感染症の病態解明

H30-085 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波 敏則
研究課題名：慢性肺アスペルギルス症の気道病変に対する一般細菌の役割の検討

H30-118 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 准教授 川波 敏則
研究課題名：日本呼吸器学会が提唱する ACO 診断基準に基づく COPD の特徴に該当する経過観察中または新規の外来患者における喘息と COPD のオーバーラップに関する前向きコホート研究：ACO Registry

H30-135 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 講師 山崎 啓
研究課題名：悪性胸膜中皮腫患者および原発性肺癌患者の腫瘍組織・血液・胸水中マイクロ RNA の解析

- R1-035 実施責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名：加熱式タバコを含むタバコの使用実態と認識に関する WEB 調査
- R1-045 実施責任者：産業医科大学病院 看護部 看護師 八代 紘享
研究課題名：精神疾患と褥瘡発生要因の検討
- R1-046 実施責任者：医学部 両立支援科学 准教授 立石 清一郎
研究課題名：産業保健サービスを提供するために必要な活動時間に関する調査
- R1-053 実施責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名：放射線管理区域に立ち入る医療従事者の個人被ばく線量計装着実態調査
- R1-054 実施責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 教授 樺田 尚樹
研究課題名：放射線管理区域内で検査を行う医療従事者の放射線被ばく線量実態調査に関する後ろ向き観察研究
- R1-058 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：職域におけるプレゼンティーズム評価によるスクリーニングと事後措置介入の効果に関する前後比較試験
- R2-020 実施責任者：医学部 両立支援科学 准教授 立石 清一郎
研究課題名：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の産業保健職の対応に関する調査
- R2-021 実施責任者：医学部 両立支援科学 准教授 立石 清一郎
研究課題名：企業及び医療機関の両立支援に資する研究
- R2-024 実施責任者：産業生態科学研究所 環境疫学 准教授 石丸 知宏
研究課題名：留学生アルバイトの現状と労働災害との関連に関する疫学研究
- R2-031 実施責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名：事業場において治療と仕事の両立を支援するための配慮とその決定プロセスに関する研究：インタビュー調査と事例収集
- R2-035 実施責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名：がん薬物療法専門医を対象としたがん患者の治療と仕事の両立支援に関する意識と医療提供体制の現状に関する調査
- R2-044 実施責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名：ストレスチェック後の高ストレス者に対する医師による面接指導に関する産業医に対するインタビューによる実態調査

- R2-050 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：労働安全衛生マネジメントシステム（ISO45001）の第三者審査において、労働衛生分野が適切に審査されるために必要な審査員の知識および能力：審査員向けアンケート調査
- R2-053 実施責任者：産業生態科学研究所 環境疫学 准教授 石丸 知宏
研究課題名：就寝中の外耳道温の経時的変化に関する研究：耳内温度計による概日リズム推定のためのパイロット調査
- R2-054 実施責任者：産業生態科学研究所 産業保健経営学 教授 森 晃爾
研究課題名：労働安全衛生マネジメントシステム（ISO45001）の第三者審査において、労働衛生分野が適切に審査されるために必要な審査員の知識および能力：監査機関向けインタビュー調査
- R2-069 実施責任者：産業生態科学研究所 産業精神保健学 教授 江口 尚
研究課題名：テレワーク等を新しい働き方に対応したストレスおよびメンタルヘルス対策への提言と好事例集の作成
- セ H25-05 実施責任者：医学部 呼吸器内科学 助教 川端 宏樹
研究課題名：喫煙関連呼吸器難病におけるヒトゲノム・遺伝子解析研究

(2) 倫理審査研究計画の移行申請 5 件が承認された。

- H24-061 実施責任者：医学部 整形外科学 講師 川崎 展
研究課題名：人工関節の磨耗現象に関する研究
- H27-020 実施責任者：医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右
研究課題名：フローサイトメーターを用いたバセドウ病の病態解明
- H28-018 実施責任者：医学部 第1内科学 教授 田中 良哉
研究課題名：Corrona Japan 関節リウマチ（RA）レジストリの構築
- H29-045 実施責任者：医学部 第1内科学 教授 田中 良哉
研究課題名：神経精神ループス neuropsychiatric SLE（NPSLE）患者における精神症状評価スケールおよび画像所見とその治療反応性に関する検討
- H29-241 実施責任者：医学部 第1内科学 教授 田中 良哉
研究課題名：再発性多発軟骨炎の診断と治療体系の確立に関する研究